

中日若手研究者交流事業に関する報告

国際交流担当理事・田中 豊

先日開催された秋季 JFPS 講演会（2009 年 11 月 26～27 日）の会期中を含む前後に、中国側より推薦のあった、Prof. JI Hong（冀宏教授・蘭州理工大（蘭州））と Prof. LIU Yinshui（劉銀水教授・華中科技大（武漢））の 2 名の中国人若手研究者を招聘した。滞在中、学会講演会内での冀宏教授の特別講演の実施や、東京周辺の大学（東京工大、上智大、法政大）の研究室や企業の見学、国際ロボット展見学などをアレンジした。

特別講演では、まず、中国の油圧産業、特に建設機械関連の現状についての紹介があり、次に、来年の開催（2010 年 8 月）が予定されている日中共同ワークショップ（The Japan-China Joint Workshop on Fluid Power）について歓迎の意向が示された。

このワークショップは、昨年、日本側からの呼びかけで企画が進行中の催しで、第 1 回を中国の国内会議の前後に開催する方向で計画が進んでいた。今回は、双方の話し合いの結果として、会議のテーマを「Energy Saving and New Application on Fluid Power」とし、具体的な日程（2010 年 8 月 10 日開催）、受入論文数と企画内容（双方からそれぞれ 5 編程度を採択）などが紹介された。

日本からの論文の選定作業は、JFPS 側に一任され、今後は、このスケジュールを基に、JFPS 学会側で発表論文などの選定作業が行われる予定である。なお、会議の委員長は、冀宏教授が務めるとのことであった。日中間の国際交流事業のさらなる発展的展開の一環として、来年開催のワークショップへ、学会としてのミッションの派遣をご検討願いたい。

最後に、見学対応等、学会関係各位にはたいへんお世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。



写真 1 右・Prof. JI Hong, 左・Prof. LIU Yinshui



写真 2 講演する冀宏教授

以上